

平成30年8月23日

香芝市長 吉田弘明様

香芝市都市経営市民会議

会長 中川幾郎

「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」  
について（答申）

平成30年8月3日付け香企第53号にて諮問のあった「香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る諮問事項1について審議を重ねた結果、別紙『平成29年度「地方創生推進交付金」効果検証についての意見』のとおり取りまとめましたので答申します。

以上

別紙

平成30年8月3日香芝市都市経営市民会議  
平成29年度「地方創生推進交付金」効果検証についての意見

<No. 1 万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業>

〔総評〕

総合的には「有効であった」と判断するが、今後、他市町村と情報交換等を行い、より実証性のある KPI を模索することと、アウトプット（活動）してきたことがアウトカム（成果）に繋がるよう努力してほしい。

<委員意見>

- ・現在のところ整備の進捗が計画どおりであれば、有効であると評価する。
- ・現在は準備段階ということであるので、判断は保留する。
- ・今後も魅力づくりを継続して行うということに期待し、有効であると評価する。
- ・計画どおり進行しているということで有効であると評価する。今後、市内外へ周知し、集客を図ってもらいたい。
- ・事業の進捗に問題はないとのことで、有効であると評価する。今後、周知方法を工夫してほしい。また、関連する団体への周知を実施してほしい。
- ・現状では KPI の実績値が目標値に届いておらず、有効であったと評価するには不十分である。判断は保留とする。
- ・休憩所の想定が必要と考える。事業は有効であったと評価する。
- ・平成29年度予定事業については順調に実施され、有効であったと評価する。
- ・ウォーキング人数の把握は難しいだろうが、今の KPI の算出方法では KPI 自体の信用性を欠くように感じるため、効果があったとは言にくい。よって、判断は保留とする。

## <No. 2 地域ブランド力を活かしたシティプロモーション事業>

### 〔総評〕

本事業は有効性を判断できる段階まで来ていない。委員各位も事業のアウトプット（活動）は評価しているが、アウトカム（成果）までを想定して事業実施できていないため、有効であったとは言いがたい。つまり、認定商品自体は良い物であり、パンフレットも立派だと思うが、ブランド戦略を進めるうえでは、プロダクトアウトだけでなく、市場調査等を行い、積極的なプロモーションを展開していくことが必要である。

また、品質や価値が高ければブランドは成り立つので供給量が少ないことは問題ではない。ブランドの定義を再確認したうえで、今後取り組んでほしい。

### <委員意見>

- ・ハード面の整備を行ったということであるがブランド力の向上という面では、具体的な成果が見えないことから、判断は保留とする。
- ・現時点では、有効であったとは言いにくい。商品のメッセージ性を高める等の工夫が必要であると考ええる。
- ・商品数が増えていることに関しては評価したいが、売上高に反映していない状況であるので、現段階では有効とは言えない。
- ・商品開発数がKPIとなっているが、数を増やすことに注力するのではなく、より地域性の高い商品等でブランド力をつけていく工夫が必要と考える。判断は保留とする。
- ・事業の方向性は間違っていないと思うが、販売に関しては工夫が必要。また、行政から事業者に対しての働きかけは難しいと思うが、必要であると思う。
- ・KPI①の目標値の設定が誤っていたのではないかと。目標値と実績値にかなりの差があるため、過剰にネガティブな印象を受ける。まず、総合戦略でのKPIは商品開発数を基準として設定されているにもかかわらず、売上高基準でのKPIを設定する必要があったのかを見直すべき。KASHIBA+に対しては、肯定的な評価をしており、商品だけでなく風景が入っているのが現代的で素晴らしい。最近では、SNSにおけるタグ付け等の機能もあり、メディアでの拡散力も数値化できるので、そういったものをKPIにしてもよいかもしれない。現時点での判断は保留とする。
- ・腰折田公園は整備したものの、その後の事業に繋がっていないように感じる。
- ・販売するうえで、認定品が量産できないことが課題である。販売面は苦戦しているが、事業としては認定商品も増えており、前向きに進んでいることから有効であったと評価する。

以上

# 地方創生推進交付金効果検証について

平成30年8月  
香芝市都市経営市民会議

## 平成29年度地方創生交付金事業 検証シート目次

No.	交付対象事業の名称	活用交付金	実績額
1	万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業	推進交付金	2,636,450円
2	地域ブランド力を活かしたシティプロモーション事業	推進交付金	2,360,963円

合計 4,997,413円

## 地方創生交付金事業 検証シート【凡例】

事業の概要や結果、今後の方針(案)を記載しています。

### ◆事業の目的・結果等を記載しています。

事業執行年度		
事業名	当初計画額	
	実績額	
目的		
事業概要 (結果)		

### ◆事業に対し設定していた評価指標と実績値を記載しています。

本事業における重要業績評価指標(KPI)と実績

	指標	目標値(上段)	単位	目標年月
		実績値(下段)		
①				
②				
③				

### ◆平成28年3月に策定した総合戦略の中で、当該事業に関連する評価指標を記載しています。

総合戦略で関連する施策・KPI

基本目標						
施策						
KPI	H26	H27	H28	H29	→→	H31
備考						

### ◆事業の自己評価及び外部有識者による評価を記載しています。

本事業の評価

本事業の効果	外部有識者による評価	
	事業の評価	外部有識者からの意見
<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

委員の皆様には、「総合戦略のKPI達成に有効であったか」の評価、及びご意見を頂戴したく存じます。

### ◆事業の今後の方針について記載しています。

実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
<input type="checkbox"/> 追加等更に発展させる <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善) <input type="checkbox"/> 事業の継続 <input type="checkbox"/> 事業の中止 <input type="checkbox"/> 予定通り事業終了	

事業執行年度		平成29年度(H28からの継続)	
事業名	万葉ロマンの地を巡る観光ルート整備事業 (広域)	当初計画額	3,000,000円
		実績額	2,636,450円
目的	香芝市は、都市圏へのアクセスの良さから従来よりベッドタウンとして発展してきた反面、市内の観光資源や文化資源に目を向けることが少なかった。また、住民の生産活動や消費活動の多くが市外や県外で行われていることや、地域内の歴史・文化への関心が低く、郷土愛が育みづらい環境であることも大きな課題の一つであった。そこで、「万葉」をテーマに、奈良県香芝市、王寺町、三郷町、大阪府柏原市の4自治体が広域で連携し、各自自治体内に点在する観光資源をルートで結び、広域な観光エリアとして地域内外からの交流人口を増加させることで、地域の活性化と消費活動の促進を図っていく。観光ルートや観光スポットの整備を行い、観光資源の活用につなげることにより、エリア全体の価値を高め、まちの魅力、認知度を高め、まちの賑わい創出から商工力・観光力の向上、消費拡大へとつなげることが目的である。		
事業概要 (結果)	・2市2町広域観光ルート整備推進協議会負担金 平成29年9月27日 プロポーザル審査による委託業者の選定 (広域観光ルート事業実施計画の作成、プロモーション方策の検討・実施、等) ・観光ルート整備 平成29年9月 入札によるどんづる峯遊歩道整備設計の業者選定 (平成30年2月に設計完了) 平成30年3月 万葉集歌碑設置		

本事業における重要業績評価指標(KPI)と実績

指標	目標値(上段)	単位	目標年月
	実績値(下段)		
① JR・近鉄の年間利用者数(定期外) 【対象駅】JR:王寺、三郷、河内堅上、高井田、志都美、香芝 近鉄:王寺、新王寺、信貴山下、勢野北口、関屋、二上山、河内国分 上記のうち香芝市の対象駅:志都美、香芝、関屋、二上山	19,757	人	H30年3月
② 整備エリア内ウォーキング人数	61,000	人	H30年3月
	52,335		
③ 整備エリアの観光ウォーキングツアーでの宿泊者数	38,400	人	H30年3月
	33,368		

総合戦略で関連する施策・KPI

基本目標 2 香芝への新しいひとの流れをつくる							
施策 7 地域ブランド力の向上							
KPI	香芝市に魅力を感じる人の割合 (%)	H26	H27	H28	H29	→→	H31
		—	—	67	99		70
備考	映画「天使のいる図書館」の上映会でアンケート実施						

本事業の評価

本事業の効果	外部有識者による評価	
	事業の評価	外部有識者からの意見
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	別紙参照

実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
<input type="checkbox"/> 追加等更に発展させる <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 <input type="checkbox"/> 事業の中止 <input type="checkbox"/> 予定通り事業終了	平成29年度に作成した広域観光ルートの事業実施計画を活用して、30年度はエリアに人を呼び込むイベントの実施やプロモーション活動を行う。ルート上の観光拠点となるどんづる峯の遊歩道整備を行い、ウォークイベント等で活用していく。

事業執行年度		平成29年度(H28からの継続)	
事業名	地域ブランド力を活かしたシティプロモーション事業 (単独)	当初計画額	4,000,000円
		実績額	2,360,963円
目的	香芝市は、その地理的な位置の関係上、ベッドタウンとしての性格が強いため、大阪方面で働く人が多く、地域内の産業は発達しにくい形となっている。さらに、市内では、多くの歴史・自然・文化に恵まれてはいるものの、それをうまく活用しきれず、地域内の経済循環構造が確立されていないという問題もある。このため、地域内に著名な名産品・特産品・観光資源が乏しく、市外への発信力に欠けている。また、市民の中でも、転入者が多いということもあり、香芝市民の共有する「まちの個性・特性」というものが生まれてきていない。今後、地域に現にある魅力ある資源を再発掘し、それを広く情報発信していく地域の核(地域ブランド)を確立することによって、市外への知名度アップと来訪人口の増加、さらに市民のふるさと意識の向上につなげていくことが、予測されている人口増加を確実なものとし、地域活性化・地方創生につながっていくものと考えられる。		
事業概要 (結果)	・香芝ブランド推進補助金 商工会への補助金交付(認定品パンフレット作成、ECショッピングサイト費用等) ・産学連携促進補助金 3件(相撲グラス、ウェディングドレス、ポン酢) 大阪樟蔭女子大学、畿央大学 ・相撲発祥の伝承地「腰折田」整備事業(腰折田公園内に力士像モニュメントを設置する工事) 平成29年7月25日 入札による工事施工業者の決定 平成29年10月11日 竣工 平成29年10月13日 腰折田公園供用開始		

本事業における重要業績評価指標(KPI)と実績

指標	目標値(上段)	単位	目標年月
	実績値(下段)		
① オンラインショッピングシステムや各種イベントでの香芝ブランド(KASHIBA+)認定商品の売上高	1,500,000	円	H30年3月
	47,900		
② 香芝ブランド(KASHIBA+)認定商品・サービス等数	14	件	H30年3月
	18		
③ 市内のJR/近鉄の年間利用者数(定期外) 【対象駅】近鉄：五位堂、近鉄下田、二上、関屋、二上山、 JR：香芝、志都美、五位堂	3,048,000	人	H30年3月

総合戦略で関連する施策・KPI

基本目標 2 香芝への新しいひとの流れをつくる

施策 7 地域ブランド力の向上

KPI	地域ブランド商品開発数	H26	H27	H28	H29	→→	H31
		—	—	11	18		20
備考							

本事業の評価

本事業の効果	外部有識者による評価	
	事業の評価	外部有識者からの意見
<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	別紙参照

実績値を踏まえた事業の今後について

今後の方針	今後の方針の理由
<input type="checkbox"/> 追加等更に発展させる <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 <input type="checkbox"/> 事業の中止 <input type="checkbox"/> 予定通り事業終了	平成30年度については、昨年度に引き続き商工会への香芝ブランド推進事業補助金を交付するが、新商品開発等の新規事業を図っていく。また、本市のブランド力を発信するためのプロモーションツールと、今後のブランド方針を戦略的に進めていくためのブランド推進方針を策定し、それらの活用により本市の付加価値を高めていく。